



3次元形状測定によるリバースモデリング

図面、CADデータのないサンプルからスピーディーに3D-CADモデルを作成いたします。

特徴と用途

- ① 図面、CADデータのないサンプルを3次元計測し、得られた点群データを元に3D-CADモデルを作成いたします。
- ② 3D-CADモデル(サーフェスモデル/ソリッドモデル)は、設計・製造・数値解析モデルとして利用できます。
- ③ 自動車解体調査の一環として、解体前後のホワイトボデー、構成部品などの3D-CADモデルも作成可能です。

形状測定仕様および出力ファイル形式

測定精度 : ①0.046mm、または②0.1mm (①アーム型レーザースキャナー、または②ハンディ型カメラ)
 測定対象サイズ : ①アーム稼働範囲2500(mm)、または②一辺400~1000mmの立方体以内 (いずれも現地計測可)
 出力ファイル形式 : IGES、STEP、PARASOLID または CATIA-V4、-V5、AutoCADのネイティブファイルなど

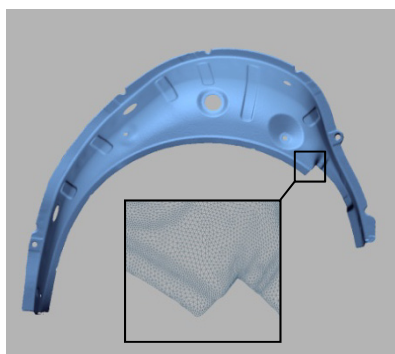
リバースモデリング例

● オートサーフェスモデリング(例:自動車部品)

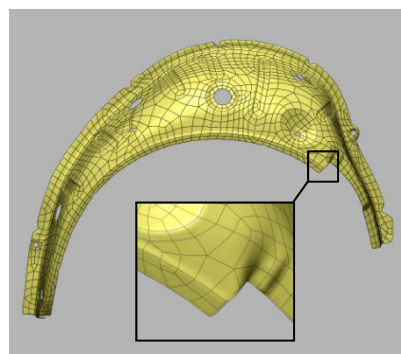
点群データに忠実なサーフェス曲面を作成いたします。



1) モデリング対象部品



2) 形状測定(STL点群データ)



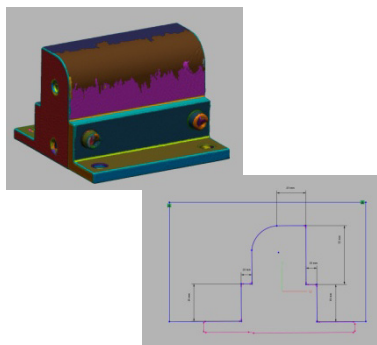
3) オートサーフェスモデル

● ソリッドモデリング(例:金型)

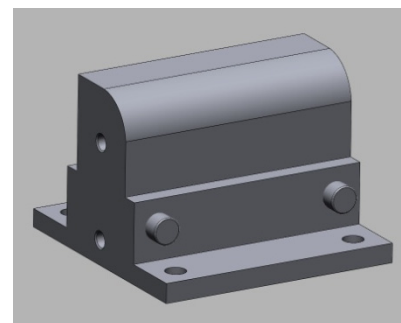
寸法や幾何情報(平面や円筒、球など)を持ったソリッド・曲面を作成いたします。



1) モデリング対象部品



2) 形状測定、領域分け、断面スケッチ、ブーリアン



3) ソリッドモデル



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2016-2018 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。